

お客様、サプライヤー、従業員、地域社会など、すべてのステークホルダーの皆様と良好な関係を維持できるよう、様々な活動に取り組んでいます。

お客様／サプライヤー

ISO9000シリーズをはじめとする品質国際標準の認証取得により、製品の品質保証に努めるとともに、自社のガイドラインに基づくグリーン調達を推進しています。また、すべての取引に関する情報セキュリティの確保に取り組んでいます。

品質保証への取り組み

当社は、世界トップ水準の品質確保とお客様満足度向上のための「品質方針」を定め、あらゆる品質保証の取り組みを行っています。

また、品質の国際標準の認証取得を積極的に推進し、これに則った品質マネジメントシステムを運用しています。

品質方針	
品質方針	世界トップ水準のニッパツグローバルTQMの実践によるお客様満足度の向上
スローガン	世界トップの品質・ダントツ工程のグローバル展開とQCD同時改善
重点方策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 攻めの品質保証活動推進による客先目標値の必達 開発・設計・生産、各段階にて未然防止手法を活用する。 2. 品質保証システムの確実な実践とグローバル展開 確実に実施出来る品質保証システムを確立し、これをグローバル展開する。 3. SQC手法活用による工程内不良撲滅 SQC推進プロジェクト活動の実践とSQC定着のための体制を確立する。

■品質国際標準の取得状況

本部・事業部	対象事業所	認証種類	取得年月	対象製品名
ばね生産本部	本部、横浜工場、滋賀工場	QS9000	1998年 8月 7日	懸架ばね全般
シート生産本部	本部、群馬工場、横浜工場、豊田工場	ISO/TS 16949:2002	2000年11月21日	自動車用シートおよび内装品全般
精密ばね生産本部	本部、厚木工場、伊那工場	ISO9001:2000	1998年 6月19日	精密ばね全般
DDS事業本部	本部、駒ヶ根工場	ISO9001:2000	1997年 4月25日	HDD用サスペンション
産機事業本部	伊勢原工場	ISO9001:2000	2000年 5月26日	半導体製造検査装置部品
	駒ヶ根工場	ISO9001:2000	1997年 8月12日	発泡ポリウレタン製品および金属ベースプリント配線板
	野洲工場	ISO9001:2000	1999年 6月18日	機械式立体駐車装置
STS事業部	STS事業部	ISO9001:2000	2003年 3月25日	セキュリティ機器全般

情報セキュリティの確保

当社およびグループ各社は、お客様やサプライヤーとの取引における情報の流出防止について、2003年12月にその基本となる「セキュリティマネジメントポリシー」を制定しました。この対策基準、実施手順の運用により情報の保護に努めています。

ポリシーの適用者は、当社および関連会社の役員、従業員、外務委託業者の従業員（派遣社員、アルバイトを含む）としています。保有する情報資産は、機密度や内容に応じて、重要度を評価、分類し、適切な管理を行い、機密漏えい、破壊、改ざん、不正利用などを予防しています。

部品調達

当社は部品調達にあたって、「相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築」「公正・公平かつオープンな調達」「法規順守と機密保持」という3つの基本方針を制定しています。

●グリーン調達

当社は、調達の基本方針に基づき「グリーン調達ガイドライン」を設定し、環境に配慮した企業からの環境負荷の少ない製品の調達に努めています。サプライヤーの皆様との連携によって、製品の設計・生産・廃棄にいたるすべての段階を通して環境保全活動を強化するとともに、環境負荷の削減と環境リスクの回避を図っています。



「グリーン調達ガイドライン」

株主・投資家

株主・投資家の皆様へ長期的にご支援いただくためには、会社の状況や財務に関する情報のタイムリーな開示が大切であると考え、その実施に努めています。

株主への対応と分布比率

株主の皆様からの問い合わせについては、以下の通り対応しています。

広報部：事業活動ほか全般

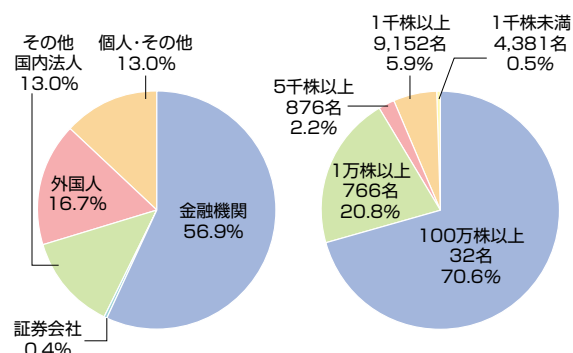
総務部：株式の諸手続き（株主名簿管理人＝三菱UFJ信託銀行）

なお株主の分布状況は、右グラフのような構成となっています。

■株主の分布状況（2006年3月末現在）

【所有者別株数比率】

【所有数別株数比率】



IR情報の発信

株主・投資家の皆様へ、当社を一層ご理解いただくため、事業報告書やアニュアルレポート（英語版年次報告書）の発行のほか、プレスリリースやホームページで最新情報をお知らせしています。今後さらにホームページの充実を図るなど、情報発信の活性化に努めていきます。

URL <http://www.nhkspg.co.jp/ir/>



「投資家向け情報」ホームページ

Voice ニッパツを囲む皆様の声



ルノー・ニッサン
パーチェンング
オーガニゼーション
(RNPO)
グローバルサプライヤー
アカウントマネージャー
山西 政博さん

お客様 「愛される企業市民」として期待

RNPOは、ルノーと日産の購買業務を行う会社です。ニッパツからは、懸架ばね、シート、弁ばねなど幅広く供給していただいております。日産車の開発、生産における重要なサプライヤーとなっています。ニッパツの製品は、自動車の高機能化、軽量化、快適性の追求に重要な役割を担っており、昨今は、環境対応の視点からニッパツの軽量化技術に期待が高まっています。

またニッパツは、自動車生産のグローバル化に伴う部品供給にも積極的な海外展開で貢献しています。今後は、さらに技術のグローバル展開を図り、日産の提携先であるルノーに対してもグローバルサプライヤーとしての活躍の場を広げていただきたいと思います。お互いの地道な取り組みを通じて、ニッパツと日産の両社が「愛される企業市民」として、WIN-WINの関係が構築できることを願っています。

Voice ニッパツを囲む皆様の声



大同特殊鋼株式会社
鋼材営業部第一営業室長
後藤 伸一朗さん

サプライヤー さらなる成長、グローバル調達、技術開発で貢献したい

ニッパツは、自動車の懸架ばね用を中心に、当社の特殊鋼製品を大量に使っていただいている最重要ユーザーです。取り引きには長い歴史があるとともに、相互に資本関係をもつ緊密なパートナーでもあります。加えて、研究開発を通じてばねの高機能化や軽量化を進めたり、ニッパツで発生した鉄スクラップを当社で特殊鋼製品にリサイクルするなど、環境や社会への対応にも共同で取り組んでいます。

大同特殊鋼は今年、創立90周年を迎えました。今後も成長が見込まれる自動車産業向け特殊鋼の拡充を進めていきます。ニッパツのめざしている、さらなる成長とグローバル展開、社会や環境への貢献などに対して、当社は今後より一層のパートナーシップで応えていきたいと考えています。

従業員

当社は「人を大切にする」という企業風土のもと、従業員を大切な財産と考え「人財」の育成に取り組んでいます。働きがいのある会社づくりをめざし、障害者雇用、労働安全衛生、福利厚生などの充実を図っています。

人財の雇用と育成

●雇用

当社は従業員の採用にあたって、期待する従業員像のキーワードの頭文字から「PARTNER」を掲げ、当社の「パートナー」となる人財を広く求めています。自由闊達な企業風土のもとで、夢と可能性に挑戦する人財の雇用に努めています。

●人財育成

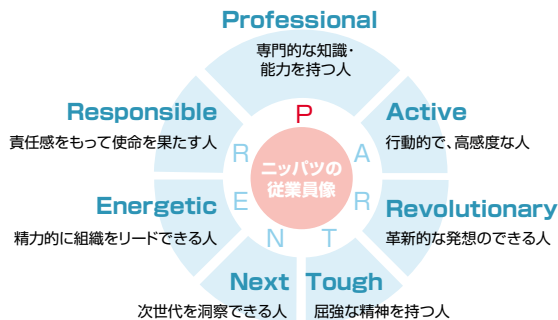
人財育成では、一人ひとりが「プロフェッショナル」として能力を発揮できるよう、人財を育成するため、

- ①自ら成長しようとする「個人」
- ②育てようとする「職場」
- ③それらをサポートする「人事制度」

の3つを有機的に連携させる体制をめざしています。

人財育成のための教育研修では、階層別や職能・専門の集合研修のほか、外国語・異文化研修などもあります。また、社外の研修にも積極的に参加するほか、海外研修や通信教育などの制度を充実させています。

■期待する従業員像



外国人教師による英会話研修

障害者雇用

当社は、差別のない職場環境をめざしており、その一環として障害者雇用を積極的に進めるため、障害者雇用の特例子会社「ニッパツ・ハーモニー」を設立し、2002年4月、横浜事業所内で操業を開始しました。同社は2004年4月に厚木、2005年4月に駒ヶ根に営業所を開所しました。それぞれの事業所内の清掃や緑化を中心に業容を拡大しており、2006年7月現在、29人の従業員を雇用しています。



ニッパツ・ハーモニーの入社式(横浜)

労働安全衛生

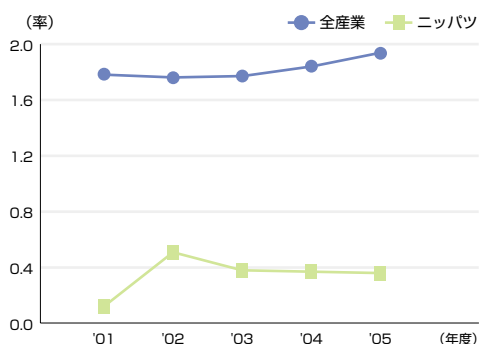
当社は、2000年度から労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、2003年度から全社展開しています。「危険ゼロ」を目標に労働災害の撲滅を推進するため次のような取り組みを行っています。

- ・5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）＝安全の最も基本的なことを身につける
- ・安全道場＝安全基本動作を身につける
- ・リスクアセスメント＝危険有害要因を特定し、設備の本質的な安全につなげる

労働安全衛生の指標となる休業度数率は、全産業平均と比較し大幅に下まわっています。

今後は、労働安全衛生マネジメントシステムのPDCAサイクルを適切にまわし、スパイラルアップによる安全衛生管理レベルのさらなる向上を図っていきます。

労働災害による休業度数率推移



※休業度数率 = $\frac{\text{休業災害発生率}}{\text{延べ労働時間}} \times 100万$

福利厚生

当社は、従業員の快適な会社生活を支援するため、社会環境に適応した福利厚生の充実に努めています。経済の成熟化に伴い、従来の「ものの豊かさ」とともに「心の豊かさ」を求める意識の変化が出てきました。さらに、心身の健康維持管理、余暇活動から、定年後の安定した生活の実現まで、総合的な福祉をめざした活動を行っています。



充実したクラブ活動。
当社所有のクルーザー



ウェルネスフェアで従業員の健康チェックとともに、心身の健康に対する意識を高める



卓球部は全国大会などでも活躍



「日発太鼓」は各地のイベントで熱演

Voice

担当者の声



人事部
佐藤 紘子

従業員教育

「人材」の育成に向け、教育を充実

当社の従業員教育は、OJTを中心として、集合研修のほか、英会話教室、通信教育、社外研修など幅広く行っています。特に集合研修では、入社3年次までの若手社員の教育に力を入れており、将来の当社を担う人材の育成に努めています。最近では、CSRやものづくりなど、さらに多くの知識や技能が必要になってきていることから、各部門と連携し、従業員教育の一層の充実を図っています。

地域社会

当社は国内事業所および国内関連会社が全国に広がっており、それぞれ地域に根ざした活動を展開しています。地域社会から世界へと共生の輪がさらに広がるよう、社会貢献など様々な活動を積極的に推進しています。

インターンシップ

●ニッパツ

当社は、インターンシップによる就業体験を積極的に受け入れています。

2005年は初めて大学生を受け入れ、2004年に産学連携包括協定を調印した横浜国立大学などの大学生が研究開発本部で解析・評価などを体験しました。

また、神奈川県と横浜市の教育委員会の依頼により、小学校、中学校および高校の先生が、ばね横浜、シート横浜それぞれの工場就業体験に汗を流しました。

さらに恒例となっている高校生については、県立磯子工業高校、県立商工高校、神奈川工業高校、横須賀工業高校の生徒が、自動車用のばねやシートの製造を体験しました。

当社へのインターンシップの要請は、年々、増加し



当社従業員から指導を受け、熱心に就業体験を行う高校生

ており、受け入れを行う工場は「単に就業体験してもらっただけでなく、社会人としての心構えなども学んでもらえれば」と、従業員が皆で協力しながら指導にあたっています。

●関連会社

関連会社でもインターンシップの受け入れを推進しています。

その一例として、ゴルフ練習場を運営するジー・エル・ジーでは、地元の川崎市立日吉中学校2年生の就業体験に協力しています。フロント業務、打席周辺の清掃やメンテナンス、敷地内の緑化など、同社の業務を体験し、働くことの意義などを学ぶ貴重な実習になっています。



ゴルフ練習場の様々な仕事を体験する中学生

工場見学

当社の国内11工場では、当社所属団体や業界関係者のほか、小・中学生から高校生、大学生など、連日多くの工場見学を受け入れています。また、海外から訪れる政府関係者や企業担当者の視察もあり、見学のテーマも、技術の習得はもとより、品質管理、環境保全、安全、生産性、障害者雇用など多岐にわたっています。

特に最近では、工場内に設置した「ものづくり道場」の見学が増えています。これは当社独自のもので、各工場の作業に合わせて基礎的なことを習得する仕組みとして推進しており、見学に訪れた社外の方々からも高い評価を受けています。



産業技術交流で神奈川県下の約50社80人に、当社の品質や地球環境への取り組みを紹介（横浜事業所）



海外からも多くの見学者が来訪。日本のものづくりなどを学んだ（横浜事業所）

産学連携

2004年、横浜国立大学ならびに横浜市立大学と産学連携包括協定にそれぞれ調印しました。その内容は、研究開発、技術交流、教育訓練、社会貢献など、幅広く多岐にわたっています。

最近では、ばねの高強度化や自動車用シートの乗り心地向上に向けた研究開発をはじめ、多くのテーマに取り組んでいます。

消防活動

当社は各事業所で自衛消防隊を組織し、地元の消防署員を招いての防災訓練を実施するなど、普段から自主防災の意識向上と消防技術の訓練に努め、地域防災に協力しています。

●滋賀工場が消防訓練活動で県知事表彰

2005年10月8日、滋賀県消防協会主催の「第50回滋賀県消防大会」で、滋賀工場の自衛消防隊の活動が評価され県知事表彰を受けました。



消防活動で滋賀県知事表彰

清掃活動

当社は、国内の事業所・工場ごとに行政機関などとの連携を図りながら、周辺地域や河川などの清掃活動を実施しています。

●「天竜川水系環境ピクニック」参加

長野県の伊那・DDS駒ヶ根・産機駒ヶ根(化成品・電子部品部)の3工場では、毎年、従業員と家族が「天竜川水系環境ピクニック」に参加しています。また、工場周辺のごみ拾い活動なども行っており、環境保全活動を積極的に推進しています。



近隣企業の従業員とともに参加して天竜川水系の河川のごみ拾いを行う

夏まつりで地域交流

当社各工場は、毎年開催する夏まつりに地域の方々を招き、従業員が出店する模擬店や、子ども向けのアトラクションなどで交流を図っています。当社の夏まつりはすっかり恒例となり、各地の「夏の風物詩」となっています。また、夏まつりではチャリティバザーなども行い、その収益金をもとに、社会福祉団体などへの寄付活動も行っています。



夏まつりに集まった地域の子供たちとジャンケン大会(厚木工場)



工場設備を活用し、さまざまなアトラクションで子どもたちも大喜び(群馬工場)

Voice ニッパツを囲む皆様の声



長野県宮田村役場
総務課長
矢田 典和さん

地域社会 「地球に、地域に、人に」やさしい企業としてさらなる発展を期待

ニッパツの伊那工場と宮田村とは、昭和18年の工場設立から62年あまりの関わりがありその歳月に驚嘆する次第です。戦中・戦後の復興期から今日まで、伊那地方において常に産業界をリードする企業として、雇用の拡大、関連企業の育成など地域社会の経済発展に貢献してきました。

日本の製造業を取り巻く環境は、グローバル化の流れの中にあり、当地域においても少なからず影響を受けております。そんな中でもニッパツは信頼される「ものづくり」を継続してきており、この地域に根ざした掛け替えのない企業となっています。これからもグローバル企業として、「地球に、地域に、人に」やさしい日本のトップ企業として、さらに継続的に発展していくことを期待しています。